

1 研修の充実に向けて

各校の掲げる「めざす児童生徒の姿」の具現化に向けて、校内研修を充実させることは、大きな原動力となります。校内研修を積極的に行い、教育活動の充実を図りましょう。

校内研修が充実すると…

- 学校組織全体が活性化する。
- 教職員の一体感が生まれる。
- 教職員一人一人の資質能力が高まる。
- 子どもたちの満足度が高まる。
- 保護者・地域からの信頼度が上がる。

まずは教職員の意識改革を…

- 研修したことをその後の子どもへの指導に生かすという意識をもつ。
- 研修によって、学校がめざす方向へ変わっていくという意識をもつ。
- みんなで取り組むことで学校全体への波及効果が現れるという意識をもつ。

2つの研修場面

① OJT（普段の仕事を通しての研修）

- ・ ルーチン業務
- ・ 学年の話合い ・ 日常の打合せ

② 集合研修（校内で設定した研修）

- ・ 課題を共有化した研修計画の作成
- ・ 教職員の力量を高める授業研究
- ・ 学校の多様な課題に対応する研修



成果や課題を全職員が共有しながら、高め合っているシステムや関係性が望ましいですね。



校内研修充実のために

① 管理職の意識（研修の重要性）

- ・ 人材育成の視点
- ・ 教職員の指導力の向上

② 研究主任の役割と動き

- ・ 学校経営方針や重点事項の理解と周知
- ・ 優先順位を考えた具体策の明確化
- ・ 教職員の課題意識の把握

より実効性のある研修にするために

- 複数の視点から現状を見つめ直す。
- 最優先課題を明確にする。
- 取組の具体策を可視化する。
- PDCAを工夫して回す。
- 発信できる場面を設定する。
- 子どもたちの姿で取組を評価する。